

平成17年度 第2次試験 【事例】

AAS解答例

第1問(配点25点)

(a)	売上高対経常利益率	(b)	- 7.90%
(c)	問題点は、本業の収益性が低いことに加え、過大な借入金による金融費用負担が利益を圧迫し、経常赤字に陥っている点である。		
(a)	自己資本比率	(b)	12.50%
(c)	問題は、短期の運転資金や長期の設備投資資金の調達を借入金に依存しているため、財務の安定性が低い状態になっている点である。		

第2問(配点25点)(設問1)

平成17年度貸借対照表 (単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	(230)	流動負債	200
現金等	140	短期借入金	200
受取手形・売掛金	(60)	固定負債	(700)
棚卸資産	30	長期借入金	(700)
固定資産	(782)	負債合計	(900)
土地	100	資本の部	
建物・機械装置	(682)	資本金	100
		当期末処分利益	(12)
		資本合計	(112)
資産合計	(1,012)	負債・資本合計	(1,012)

損益計算書 (単位:百万円)

売上高	(1,200)
売上原価	(850)
売上総利益	(350)
販売費・一般管理費	240
営業利益	(110)
営業外収益	0
営業外費用	(90)
経常利益	(20)
特別利益	0
特別損失	0
税引前当期利益	(20)
法人税等	(8)
当期純利益	(12)
前期繰越利益	0
当期未処分利益	(12)

製造原価報告書 (単位:百万円)

材料費	400
労務費	(108)
経費	(342)
(うち、水道光熱費)	(80)
(うち、減価償却費)	(118)
(うち、運搬費)	(45)
当期製造費用	(850)
期首仕掛品棚卸高	0
期末仕掛品棚卸高	0
当期製品製造原価	(850)

(設問2)

(a)	長所は、本業の収益性が向上し、経常黒字を 実現できる点である。
-----	------------------------------------

(b)	短所は、借入金依存が進行し、財務安定性が 更に悪化する点である。
-----	-------------------------------------

第3問(配点25点)

(設問1)

(a)	998百万円
(b)	99.80%

(設問2)

平成17年度の損益分岐点の特徴は、平成16年 度に比べて労務費や減価償却費等の固定費が 増加するものの、販売単価の上昇や運搬費の 削減効果などで限界利益率が向上する結果、 損益分岐点比率が改善されることである。

第4問(配点25点)

(設問1)

	4.16億円
--	--------

(設問2)

(a)	5億円
(b)	現時点で原材料を購入の方が期待値が大きくなり有利である。